

参考1

第2回林政審議会施策部会における意見

章	意見
トピックス (基本計画・森林法改正)	基本計画と森林法の改正については、資源が成熟しているという背景や、CLTなど木材需要拡大の新たな仕組みづくりの重要性等と関連づけて記述すべき。
トピックス (熊本地震)	地震災害については、日本の木造建築の地震耐性への海外からの注目を考慮し、木造住宅の地震等に対する強度についての記述が必要。 熊本地震では、木造住宅が地震に弱いとの印象を持たれたように思うが、それに対して林野庁としてどう答えるかを加えるべき。
トピックス (熊本地震)	熊本地震については、木造住宅の倒壊や山崩れ等に林野庁としてどう対応したか、細かく伝えるべき。
トピックス (熊本地震)	熊本地震の際の対応について、国交省のTEC-FORCEとの違いを明確にし、林野庁の対策の特徴的な部分を強調する、既存の治山施設の効果を取り上げるなど、記述を工夫すること。
トピックス (熊本地震)	地震や豪雨に対して森林が果たした公益的機能について、効果のあった部分と災害が増加した部分の違いを明確にした上で、今後の対策を記載すべき。
トピックス (その他)	木材自給率が5年連続で上昇していることを、大臣の所感やトピックスなど、目につきやすいところに入れて強調してはどうか。
I (特集)	項目立てについて、「生産性の向上のための技術」と「ICTの活用」を「生産性の向上」としてまとめ、花粉対策等をここから切り離れた上で、ICTとそれ以外に分けるなど、構成を検討し直してはどうか。
I (特集)	林業の生産性について、諸外国と生産性を比較できる資料を載せてはどうか。
I (特集)	「生産性向上」という言葉について、どのような技術を意図しているかが伝わるよう記述してほしい。
I (特集)	成熟した森林資源をどう活用し次世代につなげるかという視点、特に資源の再生産に関する視点を持ち、これについて丁寧に説明し内容を掘り下げてほしい。
I (特集)	ICTの活用による森林情報の整備に関する取組について、林野庁も強力に後押しをしていることを記述してほしい。
I (特集)	木材需要の拡大について、新しい情報をたくさん盛り込み、国民によりアピールできるような内容にしてほしい。
I (特集)	ICTの活用について、省庁間でのデータの共有・相互利用、今後の基盤情報の利活用の促進及び最先端技術について記載してほしい。
I (特集)	林野庁又は国の技術開発についての考え方や方針をしっかりと記述してほしい。
I (特集)	特に技術の普及に重点を置き記述を充実させるとともに、技術開発・普及における国有林の役割を強調し、都道府県の技術開発・普及に関する記述も検討してほしい。
II (森林)	森林の保全では、「国土の強靱化」という文言を盛り込むとともに、これを念頭に置いて記述する必要があるのではないか。
II (森林)	基本計画と森林法改正について、トピックスで書ききれない部分を含め、方針や内容をしっかりと記述してほしい。

章	意見
Ⅲ (林業)	2015年農林業センサスについて、ページ数を増やして結果を丁寧に伝えるときに、分析や解釈をしてほしい。
Ⅳ (木材)	木材産業の動向については、住宅新設着工戸数の最新状況を見極めて記述すべき。
Ⅳ (木材)	木造公共建築物について、CLTを使用した建築物に留まらず、耐火部材を用いて住宅密度の高い地域で木造化した例や、RC造とCLTを組み合わせた例など様々な事例を取り上げてほしい。
Ⅳ (木材)	木材利用の促進については、法律に加え、地方レベルでも条例が定められている。このような地方の動きを紹介してほしい。
Ⅴ (国有林)	国有林野事業について、技術開発・普及等で民有林に貢献している取組について、項目を設けて記述を充実させてほしい。